

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~3日	11月 ~10日	11月 ~17日		
カンピロバクター	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	15	9	9		
病原性大腸菌	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	9	11	17		
腸管出血性大腸菌	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	0	0		
サルモネラ	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	1	2	1		
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	1	1	3		
黄色ブドウ球菌 MRSA	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	2	1 (2)	1		
腸炎ビブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	0	0		
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
アデノウイルス	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0		
ノロウイルス	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0		

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第46週(11月11日~11月17日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7		1	3	1	1	1	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	6	E型肝炎	1	1						
		つつが虫病	4	3			1			
		日本紅斑熱	1						1	
五類	15	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1					1		
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	2					2		
		侵襲性髄膜炎菌感染症	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	1	1						
		梅毒	7			1		5		1
		百日咳	3					3		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり2.22人の報告があり、流行開始の目安となる定点当たり1.00人を上回り、流行期に入りました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が第46週に4件報告されました。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
 第46週 A型:15人、B型:0人

2 マイコプラズマ肺炎

定点当たり9.67人の報告があり、増加しています。長引く咳が特徴で、感染経路は飛沫感染と接触感染です。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

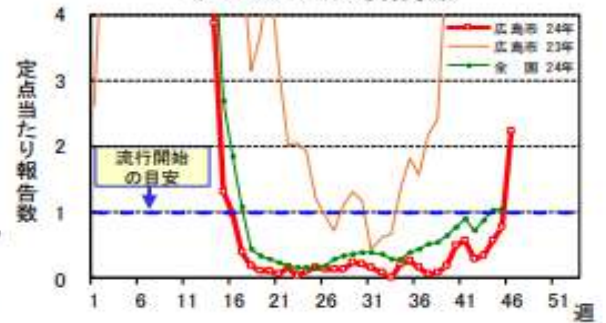
3 感染性胃腸炎

定点当たり4.96人の報告があり、前週の約1.8倍に増加しました。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり0.97人の報告がありました。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	80	2.22	4.30	↑	小児科	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.30	
	新型コロナ(COVID-19)	35	0.97		◇		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.04	
小児科	RSウイルス感染症	6	0.26	0.18		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	7	0.30	0.96			流行性角結膜炎	11	1.38	0.43	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.83	1.58	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	114	4.96	3.68	↑		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	5	0.22	0.17			マイコプラズマ肺炎	58	9.67	0.09	◇
	手足口病	22	0.96	0.86	→		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.11			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	3	0.13	0.33							

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	90	40歳代・推定感染地域: 国外
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	27	20歳代・O血清群不明
4	つつが虫病	1	2	60歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	8	70歳代
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	4	10歳代、90歳代
5	梅毒	5	149	20歳代・2人、30歳代・1人、50歳代・2人
5	百日咳	3	32	10歳未満・1人、10歳代・2人